



A toy from Fukushima prefecture in the shape of a red cow, also used as a talisman against smallpox

Aka-beko
あかべこ

環境放射能研究所が新体制で本格始動

高橋 隆行

環境放射能研究所 所長



Miharu-goma
三春駒

A toy figure from Aizu region in Fukushima prefecture so contrived as to recover its upright position when thrown down. It means the mind of "vicissitudes of fortune" by getting up even if one defeats it any number of limes.



Okiagari-koboshi
起き上がり小法師

A traditional craft and a folk toy from Koriyama City of Fukushima Prefecture



先端研究拠点としての 福島大学 環境放射能研究所

5部門16分野による環境放射能研究体制(構想)

国内外の大学・研究機関・研究者の共同利用

現地に隣接した場所での
研究活動拠点

スコープ

- 福島での調査・観測・実験
- 試料採取と一次的な処理
- 試料の分析と解析
- 試料の保存・整理保管
- 保管試料の提供
- データ・情報のアーカイブ
- 予測モデル
- 研究集会の開催

共同利用計画中の海外組織

● 国際組織

IAEA
COMET

● 欧州

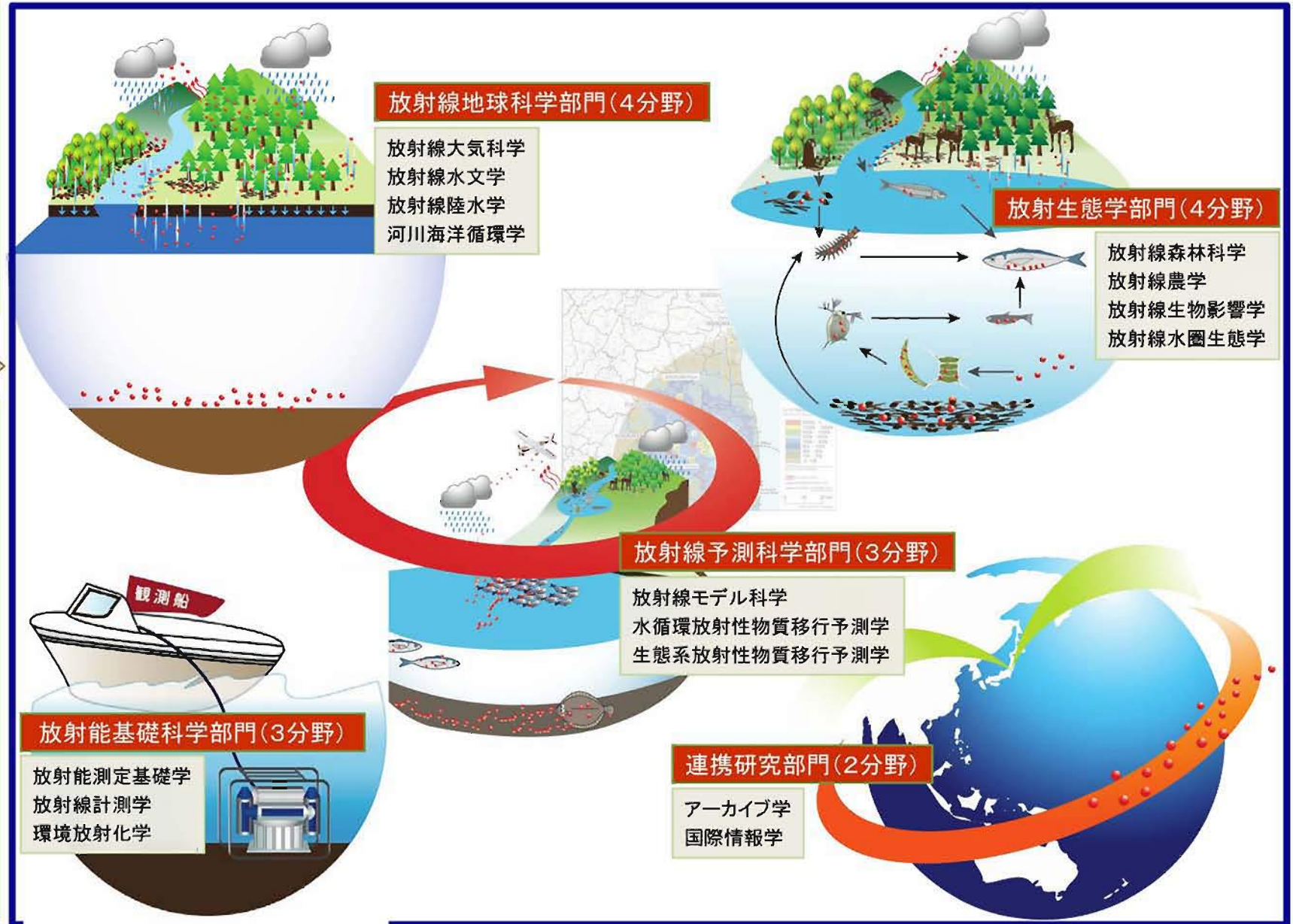
グラスゴー大学
シェフィールド大学
プリマス大学
リバプール大学
IRSN
LSCE
SCK・CEN
カールスルーエ工科大学
モスクワ大学
ベラルーシ国立大学
ウクライナ気象水文研究所
ウクライナ国立科学アカデミー

● 米国

コロラド州立大学

● 日本

多くの大学・研究機関

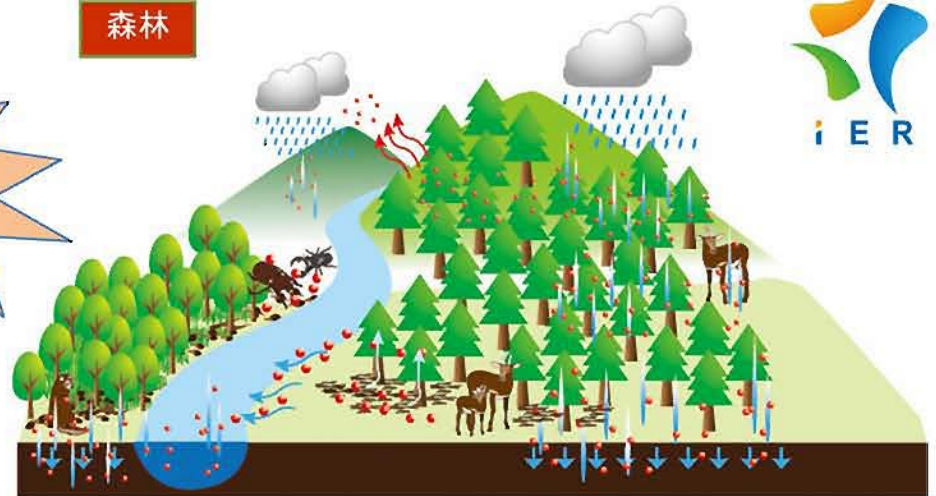




河川・湖沼



森林

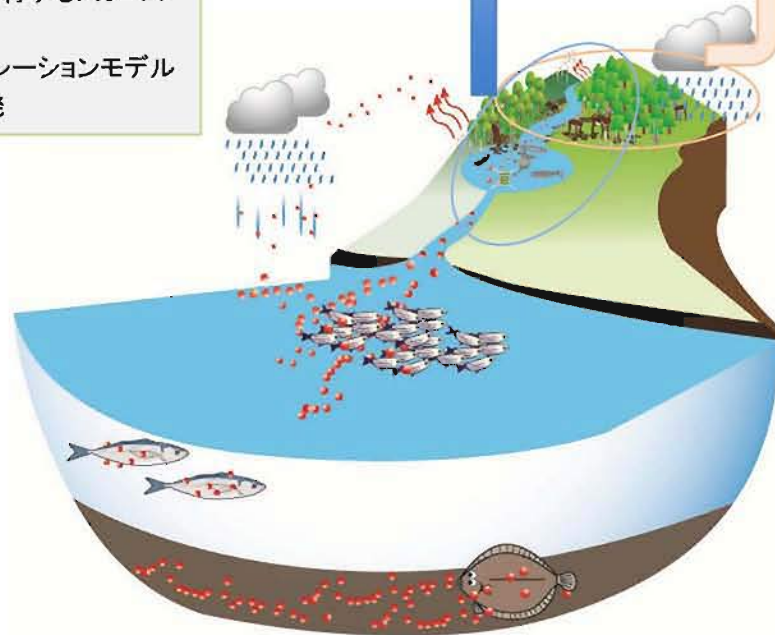


放射性物質動態
データの収集と
統合化したモデル
による将来予測

- 河川水による運搬と河川敷への堆積過程の解明
- 河川水中の存在形態と形態変化メカニズム解明
- 淡水生態系の食物連鎖で魚類に移行するメカニズム解明
- 森林-河川-海洋の長期動態シミュレーションモデル
- 水中の試料採集や計測手法の開発

- 気象条件による再飛散の観測とメカニズム解明
- 土壌から河川への流出観測とメカニズム解明
- 土壌中の鉛直的な移動と存在形態解明
- 食物連鎖で動物に移行するメカニズム解明
- 森林動植物生態・個体への放射線影響
- キノコ、山菜、野生動物等食料への移行状況
- 木材等への移行予測も含めた長期動態モデル化

異分野融合による新たな学術研究展開と体系化



海洋

- 河川からの運搬と海洋域での堆積過程の解明
- 海水中と海底堆積物中の化学形態の解明
- 食物連鎖で魚類に移行するメカニズム解明
- 海洋中の長期予測のための動態モデル化



福島大学環境放射能研究所の研究スタッフ



高橋隆行 所長
ロボット工学

観測機器開発



難波謙二 副所長
環境微生物学

水系での物質動態



恩田裕一 副所長
水文学

筑波大学
森林・水系の物質動態



塚田祥文 教授
環境放射生態学

農業環境、農作物



青山道夫 教授
海洋物理学・海洋化学

地球化学



Alexei Konoplev 特任教授
化学・放射線生物学

ロシア Typhoon,
土壌水系での物質動態



Sergii Kivva 特任教授
統計数理・水文学

ウクライナ UCEWP
環境モデル開発



Mark Zheleznyak 特任教授
環境水文学

ウクライナ UCEWP
水系放射性核種移行モデリング



Beata Varga 特任教授
放射化学

ハンガリー国立食物連鎖安全庁
放射能分析の QA, 標準試料



Vasyi Yoschenko 特任教授
放射生態学

ウクライナUIARチームリーダー
森林生態系, 林産物



Valentine Golosov 特任教授
放射化学



高瀬つぎ子特任准教授
物理化学

測定機器, 測定方法の開発



Olena Parenuik 特任助教
放射線生物学

ウクライナ UIAR
土壌微生物群集構造解析



奥田 圭 特任助教
野生動物管理学・動物生態学

森林生態系における
放射性物質の動態



石丸隆 連携研究員
海洋生態学

東京海洋大学
海洋の物質動態

連携研究員

小栗恵美子 植物学 広島大学
Shoulkamy Ibrahim Mahmoud Ibrahim
動物学 広島大学
光武範吏 長崎大学
荻朋男 長崎大学

兼務教員(福島大学)

渡邊 明 気象学
山口克彦 物理学
高貝慶隆 分析化学
横尾善之 流域水文学・都市工学
川越清樹 流域環境システム

外壁材



■ ネオロック・光セラ18 ナチュラルレンガ
NT3833GA (GU) QFキルンチタンオレンジ



COMET Project



Institut de Radioprotection et de Sûreté Nucléaire (France)



Belgian Nuclear Research Centre (Belgium)



Statens strålevern
Norwegian Radiation Protection Authority

Norwegian Radiation Protection Authority (Norway)



Universitetet for Miljø og Biovitenskap (Norway)



Stockholms Universitet (Sweden)



Bundesamt fuer Strahlenschutz (Germany)



Glowny Instytut Gornictwa (Poland)



Centro de Investigaciones Energéticas, Medioambientales y Tecnológicas-CIEMAT (Spain)



State Scientific and Research institution Chernobyl Center for Nuclear Safety Radioactive Waste and Radioecology (Ukraine)



Natural Environment Research Council (UK)



NATIONAL UNIVERSITY OF LIFE AND ENVIRONMENTAL SCIENCES OF UKRAINE

National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine (Ukraine)



Radiation and Nuclear Safety Authority (Finland)



National University Cooperation Fukushima University (Japan)

Thank you for your attention.

